

平成30年度 第2回 大阪府立泉北高等学校運営協議会議事録

○ 日時：平成30年11月28日(水)15:00～16:00

○ 場所：本校会議室

○ 出席者

<運営協議会委員>

横山 良平氏（大阪府立大学 工学域長）、木戸 秀樹氏（堺市立若松台中学校校長）

中村 俊一氏（立志館ゼミナール館長）、池内 博一氏（四天王寺大学 専任講師）

深江 美智子氏（泉北高校 PTA 会長） 河村 久美子氏（泉北高校後援会 会長）

1. 校長あいさつ

- ・学校経営計画・学校評価進捗状況について報告
- ・第1回授業アンケート結果報告
- ・SSH・SGH報告

<協議事項>

①平成30年度 学校経営計画及び学校評価に対する進捗状況について報告

- ・キャリア教育について

長期留学生，海外進学，短期交換留学，SGU

- ・確かな学力への取り組みについて

第1回授業アンケート結果，校内授業見学，家庭での学習時間について

- ・国際理解教育の充実について

指標をTOEFL iBTから英検2級取得者数に変更

- ・科学教育の充実について

SSH全国生徒研究発表会 ポスター発表1テーマ

大阪府学生科学賞 4テーマ発表

大阪サイエンスデイ 口頭発表2テーマ ポスター発表3テーマ

実験の実施率

高大連携講座参加者数

訪問研究室

- ・進学保障について

大学合格者数，オープンキャンパスへの参加者，外部模試

- ・開かれた学校作り

HP更新，月刊学校新聞「月泉」，メールマガジン（台風の影響で登録者数増）

学校説明会，小学生対象のこども科学教室

- ・生徒が安心して生活できる学校づくりについて

支援会議で生徒状況報告・共有，入部率，部活動と学習の両立

遅刻者数（何らかの事情を抱えている生徒の遅刻数は612回中189回）

生徒の生徒会行事参加の肯定的回答

・教員の資質向上について

SGHボランティア企画を3年目研修に

職員人権研修

「若者事情～SNS、集団、感情、体験～」

「てんかんに関する基礎知識と介助について」

・働き方改革について

時間外勤務の状況，時差出勤活用教員数

<各運営協議会委員から頂いたご質問・ご意見>

○確かな学力への取り組みとして、「卒業生を活用した学習活動のサポート」について

○オープンキャンパスへの参加について、夏までに3年生の参加数の集計について

○海外進学の実績について

○スウェーデン・台湾・ボルネオとの交流について

○若松台中学校3年生が全員理科の実験を受けさせてもらっているが、理科だけでなく英語の授業の実施はの可否について

○実験の際に若松台中学校出身の先輩がサポートとして入る事の可否について

○長期海外留学生の進学時の入試状況について

○オープンキャンパスで同じ大学へ違う先生たちの授業を受けに行っていた。4月等の早い時期に開催してもらおうと、3年生でももっと参加できる。(大学への要望)

○ボランティアの企画について

○遅刻数に関する事情について

②第1回授業アンケート結果について

③SSHの取り組みについて

課題研究の先行研究検索

平成34（2022）年度からの新学習指導要領の変更項目との結びつき

卒業生とのつながり『SSOnet』

④SGHの取り組みについて

SGH終了に向けて持続可能な運営を企画

ボランティア企画について

→ボランティア企画に参加することで、入試での面接でも自信持って発言する事が出来た。

→これが堺市のモデルケースになる可能性のある素晴らしい取り組み

次回 第3回日程 : 平成31年2月15日(金) 15:45～17:00